

2019年度 認定留学 留学報告書

コミュニケーション学科2年

留学先：アメリカ カリフォルニア州立大学フラトン校

留学期間：2019年8月～2020年3月

留学に行き授業を受けるという日本と全く同じ生活をするのではなく自分の取りたい授業を受講しつつ授業以外で交流するところを自分の力で探しとても充実した留学生活を送ることができました。授業では予習、復習を欠かさず、最初はやはり難しかった内容でしたがだんだんと慣れて行き自分の意見をしっかりと授業内でも伝えられるまでに成長しました。アメリカにはオフィスアワーという制度、ライティングセンターなどの施設がとても充実しています。私はライティングセンターの利用しなかったのですがオフィスアワーは有効活用しました。1クラス何十人といるので教授が一人一人わからないことがあっても対応できないのですがオフィスアワーを利用すれば少人数、1対1で質疑応答などを行うことができます。ほとんどのクラスで現地生でも意欲がとても高いのでオフィスアワーを利用する人が多く予約制になっている場合もありましたが、オフィスアワーに行く时必须丁寧に対応してもらえます。積極的に利用することで授業のわからない部分を減らせるだけでなく英語で教授と会話をするためとても自分にとって良いと感じ頻繁に利用していました。わかっているつもりでも実際は違ったなどオフィスアワーに行き気づくことも多々あったのでとてもためになりました。

授業外では現地の学生と交流できるように新歓の時にたくさんのクラブの話聞き、学内寮のイベントに頻繁に行くなどして自分から積極的に行動しました。アメリカではそこらへんに歩いている学生に話しかけたり、イベントで隣になった人に話しかけるのが普通なのでうまく自分で会話を続けてアメリカのこと色々教えてもらったりして交流の場を広げました。どこかへ遊びに行く場合それぞれが友達を連れて来てさらに新しい友達ができるということがほとんどだったので、スケジュールが合えば積極的に参加しアメリカの生活に触れていました。中には日本が大好きと言ってくれた友達や日本の文化について興味を持っている友達もいたので日本の知識を持つことも留学の上では重要だと感じました。全て自分の力で行った留学だったので成長も見られたのと同時にとてもアメリカの生活をエンジョイできたので良い経験になりました。コロナウイルスが落ち着いたらまた戻りたいと強く感じました。